

全久院報

松本市深志3-7-50 電話 0263-36-3211

全久院令和の大改修

6月2日(金)「全久院令和の大改修」工事の契約を「ハシバテクノス(株)」と行いました。写真のとおり、全久院総代会の皆様、

(有)かわかみ建築設計室 川上取締役、ハシバテクノス関係者様同席の元、契約書にサインをし、交換しました。いよいよ耐震化、再生工事の始まりです。

皆様にお知らせのとおり、改修工事計画は大きく4期の工事に分かれます。今回は「庫裡1」工事の契約となります。「庫裡1」は先代住職の住んでいたところを改装して、住職が住めるようにする工事です。

宗教法人の建物には特有の規則があります。

- 1、住職など寺の関係者が住む住居は宗教法人の建物である。
- 2、宗教法人の建物である限り、総代などの役員や檀信徒の合意を得て、寄付金により建てることできる。
- 3、住職個人は寄付することができる。ただし建てられた建物に所有権は発生しないので、すべて宗教法人のものとする。
- 4、建築許可や登記は通常のとおり市役所や法務局に行く。

これらは曹洞宗を管轄する宗務庁や弁護士・会計士の皆さんに協力いただき助言をいただいたものです。一番大切なところは檀信徒の皆様のご理解によりこの工事は進めることができるということです。この便りの後の欄で取り上げる施食会などで開催する護持会などで、改修工事の報告や情報をお伝えしますので、皆様の意見を頂戴しながら進めてまいりたいと思います。

右の写真は庫裡1(先代住職の住居)、内部改装のための解体状況です。今年中に庫裡1を完成させ、来年

は現在の住居部分と勝手(現在は3階建てになっている部分)庫裡2を2階建てに減築し、再来年は庫裡の大半の部分、庫裡3を改修します。本堂部分はその後になります。

6月24日現在、寄付の申し込みは約250軒、6300万円の申し出をいただいております。目標には達していませんので、会計の方法を整え、領収書の発行など行いながらさらに寄付のお願いを進めてまいります。ご協力よろしくお願いたします。



コロナ感染症5類に、そこでお盆は？

コロナ感染症が5類になりました。とはいえ感染が無くなった訳ではありません。そこで施食会では食事・お説教はせず、お塔婆の渡し方は昨年と同じなど、注意しながら開催したいと存

じます。

施食会 **施食会の日程** 皆様にお配りする施食旗の封筒の説明書きは例年のものです。今年のお盆用ではありませんので、全久院報の記事の説明をご参照ください。

- 8月5日(土) 12時30分 護持会
13時 バザー
13時20分 うたの会のコンサート
14時 施食会法要 (お参りのご寺院様の人数を縮小します)
15時 お塔婆を配ります

参会者の皆様へ

感染を心配される方はご欠席ください。

参加しても大丈夫という方も、ご無理のないようにお願いします。

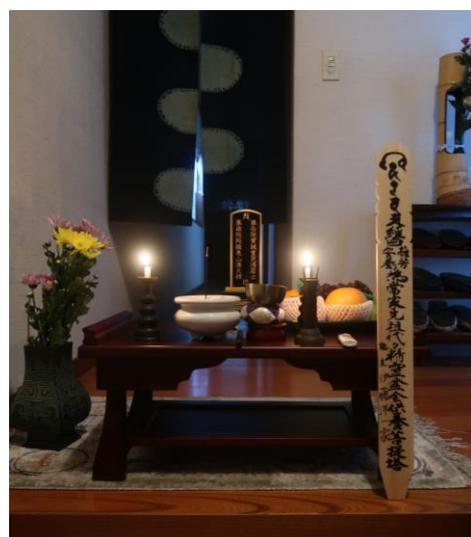
衛生管理の徹底をお願いします。高熱・咳の方は参列をお控えください。

棚経 お寺は本年も棚経(お盆参り)に参ります。お宅でも感染症に対して、以下の三つの方法にて棚経のご対応をお願いいたします。

- 1、以前のお通り、仏間で、仏壇や盆棚に盆飾りをする。
- 2、棚経にお参り行く日の時間帯に玄関先へ盆飾りを出して、お寺が家に上がらずにお参りできるようにする。(右の写真は玄関先盆飾りの例です)

3、お盆参り、今年は断る

以上三つの方法を考慮いただき、3番をご希望の方はお盆の前に電話などでお知らせください。



塔婆の配り方 後日お塔婆を取りに来られる方は

- ・塔婆の棚を玄関の下駄箱前に出しますので、各自ご自分で探してお持ち帰りください。
- ・お盆費用をお持ちくださり、お支払いいただく場合は、チャイムを鳴らし、寺の者をお呼び出しください。

施食会にて護持会を開催します

「全久院令和の大改修」に関して進捗状況を報告し、皆様から質問やご意見を頂戴したいと存じます。

施食会当日の日程は前欄のとおりです。

8月5日(土) 12時30分 護持会にて、「全久院令和の大改修」工事の経過を報告いたします。是非ご参加いただき、ご意見頂戴できたらと思います。

お盆参りのお知らせ

お盆参りの予定を次の表にしましたのでご覧ください、ご準備をお願いします。本年も副住職俊浩が松本市の南半分を回り、私が北半分を回ります。毎日80軒前後の軒数を回ります。朝7時半から夕方7時ころまで回ります。事前にお配りする、盆旗を入れた案内の封筒に記入した期日と時間どおりにお参りがなかった場合は、電話などでお問い合わせください。今年の予定は下記の表のとおりです。

| 8月 | 住職の回る範囲 | 副住職の回る範囲 |
|-----|---------------|---------------|
| 10日 | 安曇、明科、麻績など超遠方 | 安曇、明科、麻績など超遠方 |

| | | |
|-----|---|---|
| 11日 | 並柳、寿、塩尻、村井、平田、など市外南部 | 笹部、征矢野、南原、石芝、二子、神林、笹賀、など市外南部 |
| 12日 | 筑摩、神田、惣社、山辺、清水、横田、など市外北部 | 石芝、高宮、南松本、荒井、新村、波田、岡田、桐、沢村、蟻ヶ崎、城山など |
| 13日 | 源地、日ノ出町、梶、西小松、清水、四谷、女鳥羽、下横田など市内北東部 | 宮村、埋橋、庄内、東中条、豊田町、南新町、井川城、など市内南部 |
| 14日 | 裏町、片端、下横田、女鳥羽、旭町、元町、横田、美須々、浅間、北深志、沢村、田町、など市内北西部 | 鎌田、本庄、博労町、天神、宮村、中町、小池町、飯田町、本町、新橋、島内、蛇原、 |
| 15日 | 上土、六九、西堀、城西、宮淵、城山、留守だったお宅、 | 白板、渚、巾上、伊勢町、国分町、留守だったお宅 |
| 16日 | 留守だったお宅 | 留守だったお宅 |

盆棚の飾り方

右の写真は松本地方の伝統的な盆棚の飾り方です。それぞれの家によって代々伝えてきた飾り方を大切にして、お盆をお迎えください。また下記に一般的な飾り方を示しますので、飾り方の不明な部分はどうぞ参考にしてください。

1、棚を作る場合（右の写真参照）

上の段に本尊様、（本尊様は仏壇の中に入れ、盆中は扉を閉じておくというお宅もあります。その家のやり方を尊重してください。）お位牌、塔婆を奉る。お位牌は古い順に、向かって右、新しいものは左へお祀りします。2段目には供物をお供えします。お供物には二種類あります。水（お茶）、食（お膳、果物、菓子、嗜好品）などです。3段目に過去帳、花、燭台、線香立て、鐘、マッチや火消しや線香入れなどの道具をおきます。

2、仏壇を使う場合

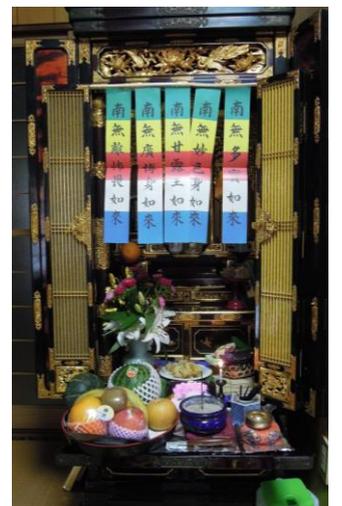
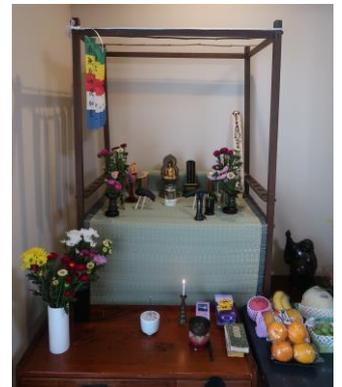
仏壇は常のとおり祀る。手前に経机や机を出すお宅は机の上に、経机を出さず引き棚を使うお宅はその上に、棚の3段目に飾る過去帳や花や鐘などを飾る。その他灯籠や飾り花、いただいた供物などは写真のとおり適所に飾る。

3、玄関先に飾る場合（前頁に写真を掲載してあります）

玄関先に手ごろな机を出し、お位牌・燭台・線香立て・鐘・供物をお飾りする。ワクチン接種などが進みここまでしなくても感染することはないかと思いますが、念には念を入れとお考えの方はこんな方法も良いかと思えます。

4、またお寺が配る五色の盆旗は、写真のように広げて糸などを通して吊るか、棚に広げておいてください。

お飾りの方法の一例です。ご先祖様をお迎えするという気持ちをこめて、その家に伝わった仕方で飾っていただくのが大切なことと思えます。



コロナ後、葬儀や法事が再び変化しています

コロナ感染症が2類から5類感染症となりました。それに伴い葬儀や法事への

の参列者の数が次第に増え始めています。また食事も行い、親類縁者の懇親を深める以前の法事に戻り始めています。前のお便りに「コロナ感染症のため、お盆などの法要、葬儀、法事の人数など縮小されました」と記載しましたが、それが再び変化し始めました。コロナのため疎遠になった人間関係の大切さに改めて気づき、顔を見合わせながら懇親を深め、意思疎通を図ることの大切さを取り戻す場所が法事だと、認識されたのだと思います。

とはいえコロナ感染症が完全に克服されたわけではありませんので引き続き、「三密にならない」「衛生管理を怠らない」「換気を徹底する」など忘れずに、注意しながら、新しい法事の在り方を模索してゆきたいと思います。また、参列者が以前より少なくなり、大きな駐車場も必要なくなったため、対面による法事を、お寺ですることが増えています。以前より、「法事にはお寺を使ってください」とお願いしていましたが、コロナの影響がこんなところに出てくるとは予想もしていませんでした。コロナの影響下で工夫した新しい対応方法、「できるだけ多くの情報を発信する」「今までの伝統を大切にしながら、新しい方法を取り入れてゆく」「ウェブを使った情報発信」などを益々進めてゆきたいと思います。

コロナ感染症で一変した社会生活に対応できるよう寺も挑戦を続けて行きたいと思います。

全久院の集い

全久院の集いも少しずつ動きを取り戻しています。座禅会・御詠歌の会・観音講・うたの会など、飲食無しで定期的に会を行っています。

坐禅会 . . . 六十七則「嚴経智慧（ごんきょうちえ）」 . . .

この則は華嚴経の教えを説いています。華嚴哲学と言われる、難解な仏教の教えを、分かり易い比喻を使って説明しています。善財童子が52人の師を訪ね、最後に仏位に至る物語をとおして、如来の智慧徳相の無辺を説いています。ちなみにこの物語が東海道五十三次の元になっています。

私は禅の教えは悟りに至る教学で、難解なものと思っていましたが、最近この勉強のためだけのものと思っていた教えが、私たちの生き方にヒントを与えてくれるものだということに気付きました。この則では「如来様の智慧やお徳は、比較ができない程限りのないもので、そのお力で私たちを救ってくれ、多くの智慧を授けてくれる」ということを説いています。比較できない程限りのないものが私たちを救ってくれる。

孫悟空の話思い出します。孫悟空が筋斗雲（きんとうん）に乗って宇宙の果てまで行って来たとお釈迦様に言いました。宇宙の果てに五本の柱があってその根元に小便をして来たと言うと、お釈迦様は「これかね？」と指を差し出す。その指の付け根が孫悟空の小便で濡れていた。という話です。悟りを開かれた仏様より自分の方が強く、宇宙の果てまで行ける。「お釈迦様より」という比較する心が有る。比較する心は、大小、高低、長短、四角い丸いなど比べるだけで、それより大きい・小さいもの、それより高い・低いものなど数限りなくあり、比較している限り私たちの心は落ち着かない。「もっと、もっと」を求め続けます。「無辺」なものに気付かないと求め続けることを止められず、心が落ち着きません。不安を抱えながら「自分の方がもっと」という比較をしない、無辺であるお釈迦様の心には孫悟空は勝てないのです。

私たちの日常も、他の人を見て、比較して、他の人よりもっと幸せになりたいと思う。もっと幸せになると、もっと幸せそうな人が見える。もっと幸せになりたいと思う。このように「もっ

と」がずーっと続く。そこで比較を止める。「無辺」の処の幸せ、比較しない幸せを見つけることに切り替える。勉学ではなく心の落ち着きが得られる。このように、勉学として悟りを究明すること、悟りを生活の中に生かす、悟りを生活の中から見つけ出す、悟りの考え方から日常の悩みや苦しみを解くことも寺の役割と考えています。

大黒コーナー … オペラ 愛の妙薬…

「オペラを楽しむ会」、第11回
公演 『愛の妙薬』は本年4月23日

(日) まつもと市民芸術館主ホールで行われました。他のオペラが最後は主人公が死んでしまうという悲劇が圧倒的に多い中で、笑いや、心温まるシーンが織り込まれた、ハッピーエンドのオペラです。観客も、演奏者も、裏方も全員素晴らしい劇場で素晴らしい音楽に包まれて、楽しい時間を過ごすことが出来ました。



オペラを楽しむ会では総監督澤木先生のもと、イタリア・ベルカント唱法で公演することにこだわったイタリアオペラの伝統を大切にしています。つまり、呼吸法などの発声の基本の上に歌う生の人間の声と、オーケストラの音色の響きを全身で感じていただきたいという思いで公演しています。ベル・カント

の技術を持つ歌手を一人でも多く育てる他、イタリアオペラの雰囲気をご堪能いただき、感動いただける舞台をソリスト、合唱団、助演、ダンサーの出演者、スタッフ全員が一つになって創り上げています。

今回の入場者数は463人。まだまだコロナ感染症の後遺症でしょうか。今後は、その対策を講じながら、宣伝活動についても考えながらより多くの方に鑑賞していただけるよう工夫しながら進みたいと思います。



この舞台のために関わってくださいましたすべての皆様に感謝するとともに、「オペラを楽しむ会」の活動が末永く続くことを、心から願ってやみません。今後とも是非、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

掲示板 (皆様のご参加お待ちしております)

(お寺の都合により予定変更があります。寺に連絡して確認しながらご参加ください)

～施食会～

8月5日(土) 12時30分 護持会報告会。13時バザー。13時20分「うたの会」によるコンサート。14時 法要。15時 お塔婆の配布。今年も、コロナ感染症対策として、食事、お説教

はありません。バザーは例年通り行います。ふとん・タオル・食品・食器・石鹸などたくさんの品があります。持ち帰るのに便利な風呂敷や紙袋など持ち寄ってお越しください。かなり良い品があります。ウクライナ支援のため是非ご協力ください。なお7月に前もってお配りする施食旗の封筒の説明書きは例年のものです。今年のお盆のものではありませんので、「全久院報」の記事の説明に従ってください。

．．． 座禅会 ．．．

8月はあります・9月16日(土)・10月21日(土)・11月18日(土)・12月16日(土)
お粥と精進料理。以上が下半期の日程です。毎回夕方4時集合、4時40分まで青山俊董師の市民タイムスのコラム「従容録」を住職が解説し、5時45分頃まで座禅、6時まで茶話会という予定で行います。座禅を経験していただくだけでなく、ものの見方や生き方を豊かにすることができます。ぜひご参加ください。

．．． ご詠歌会 ．．．

8月はあります・9月13日(水)・10月11日(水)・11月8日(水)・12月13日(水)
午前10時30分より12時まで、白板 東昌寺住職 飯島恵道師にご指導いただきます。一緒にいかがですか。また、ご詠歌を始めたいという方に大黒が初心者コースを担当します。ご希望の方はぜひご連絡ください。

．．． 観音講 ．．．

毎月17日10時から12時半まで行います。ただし、12月は18日(月)です。恒例の観音講の内容は10時から観音様にお勤めと住職の話し、10時40分からご詠歌、11時20分から大黒の指導で唱歌の合唱12時より食事という日程です。現在15人ほどの参加者があります。気よりも良く60代から80代の方が元気に集まってきます。気楽な会ですのでぜひご参加ください。17日が土・日曜日に当たる場合は日をずらしますので、寺に確認ください。

．．． 歌の会 ．．．

8月2日(水)・8月30日(水)・9月6日(水)・9月20日(水)・10月4日(水)・10月18日(水)・11月1日(水)・11月15日(水)・12月6日(水)・12月20日(水)
午前10時より12時まで、お茶休憩をはさみ大黒が指導します。発声練習をして、唱歌、童謡、懐かしい曲など一緒にいかがですか。また、ハーモニーを付ける曲もあります。他の催しへの参加なども企画しています。音楽を通した楽しい友達もできますよ。お待ちしております。

．．． 全久院ホームページ ．．．

<https://zenkyuin.or.jp/>

全久院ではホームページを開設しています。「全久院報」をネットで見ていただけるようにしています。管理をしてくれている檀家の丸山耕一さんと親しみやすいものにして行きたいと考えています。また、皆様と意見や情報を交換できる場に育てて生きたいと思います。ぜひ一度開いて見てご意見ください。